

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社イメージ・ラボ

訓練実施施設名: ハロー介護スクール梅田F教室

問合せ先住所: 〒 5 3 0 - 0 0 2 7
大阪府大阪市北区堂山町1番5号 三共梅田ビル5階 事務局

問合せ電話番号: 06-6311-3681

■土日祝日訓練の有無:

■法定講習に係る補講:

■相モデルによる訓練:

■合同開催による訓練:

☐	全日あり	/	☐	一部あり	/	☐	なし
☐	あり		☐	なし	/	☐	有料
			☐	あり		☐	なし
			☐	あり		☐	なし

訓練の種類	☒	実践コース (05 介護・医療・福祉分野)				就職を想定する職業・職種				
	☐	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	☐	託児サービスコース	☐	短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)	訪問介護員、施設介護員			
	☐	「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	☐	「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	☐					
訓練科名	☆介護福祉士実務者研修・同行援護・ガイドヘルパー科									
募集期間(予定)	令和7年8月1日 ~ 令和7年8月21日									
選考日(予定)	令和7年8月29日									
選考方法	☒	面接	☐	筆記試験	☐	その他 ()				
選考結果通知日	令和7年9月5日									
訓練期間	令和7年9月25日 ~ 令和8年3月24日 (6 か月)						(訓練日数 110 日)			
訓練時間	9 時 10 分 ~ 15 時 50 分						訓練定員	15 名		
訓練対象者の条件	特になし									
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	☐	新規学校卒業者	☐	ニート等の若者	☐	障害者	☐	母子家庭の母等		
	☐	被災者	☐	外国人	☐	その他 ()				
訓練目標 (仕上がり像)	介護従事者としての職業倫理と幅広い知識・技能を習得する為に、専門の講師からの確かな指導を受けることで、基本から応用までのスキルを身に付け、介護業界で活躍できる人材を育成する。									
訓練修了後に取得 できる資格	名称 (介護福祉士実務者研修)	認定機関 (株式会社イメージ・ラボ)			☐	任意受験				
	名称 (同行援護従業者養成研修一般課程)	認定機関 (株式会社イメージ・ラボ)			☐	任意受験				
	名称 (同行援護従業者養成研修応用課程)	認定機関 (株式会社イメージ・ラボ)			☐	任意受験				
	名称 (全身性障がい者移動支援従業者養成研修課程)	認定機関 (株式会社イメージ・ラボ)			☐	任意受験				
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)										
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)										
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)										
訓練内容	訓練概要	介護従事者に必要な制度、倫理観と認知症ケアや障がいに関する知識を学科で理解・吸収していただきます。そして、所内の実技演習で介護技術を習得し、実際に企業実習で経験を深めます。(日によって訓練時間が異なる場合があるため、詳細については、訓練校にお問い合わせ下さい。)[職場見学等推進]								
	科目	科目の内容						訓練時間		
	学 科	開講式・オリエンテーション・修了式	開講式・オリエンテーション(3H) 修了式(3H)							
		安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則						1時間	
		人間の尊厳と自立	尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護、介護の基本的な理念						6時間	
		社会の理解	介護保険制度、社会保障制度、障がい者自立支援制度、介護実践に関する諸制度						36時間	
		介護の基本	介護福祉士制度や介護福祉士の倫理、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全						30時間	
		コミュニケーション技術	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション						20時間	
		介護過程の理解	介護過程の目的、意義、展開の理解、情報収集、アセスメント、介護計画の評価と見直し						45時間	
		発達と老化の理解	老化に伴う心と体の変化と日常生活への影響、人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病と留意点						30時間	
		認知症の理解	認知症による生活障がい、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本と、医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実践						30時間	
		障がいの理解	障がい者福祉の理念、障がいによる生活障がい、心理・行動の特徴、障がい児者や家族へのかかわり・支援の基本と、医学的側面から見た障がいの理解、障がい児者への支援の実践						30時間	
		こころとからだのしくみ	介護に関係した身体の仕組みの基本的な理解、人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント・介護・連携の留意点						50時間	
		医療的ケアの知識	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)						60時間	
		同行援護の知識	障がい者(児)福祉制度と同行援護事業、同行援護従業者の業務、移動支援従業者の職務倫理、障がい者の人権、障がい者の理解、障がい者(児)の心理、介助の基礎知識						20時間	
		全身性障がい者移動支援の知識	障がい者(児)福祉制度と移動支援事業、移動支援従業者の業務、移動支援従業者の職務倫理、障がい者の人権、障がい者の理解、障がい者(児)の心理、移動介助の基礎知識						13時間	
	アンガーマネジメントの知識	怒りの感情の理解、感情のマネジメント方法、他者理解						5時間		
	就職支援	面接指導、履歴書作成指導、ジョブ・カード作成支援						3時間		
	実 技	生活支援技術	介護技術の基本(移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助)、環境整備、福祉用具の活用の視点						50時間	
		介護過程の実践	知識・技術を活用した介護過程の展開、利用者の状況に応じた介護を実践するための応用力						45時間	
		こころとからだのしくみ演習	介護に関係した、身体構造や機能に関する演習						30時間	
		医療的ケア演習	シミュレーターを用いた喀痰吸引演習(口腔、鼻腔、気管カニューレ内部)、シミュレーターを用いた経管栄養演習(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養)						22時間	
		同行援護の演習	同行援護における基本介助技術						16時間	
		全身性障がい者移動支援演習	移動介助の基本技術、交通機関利用の介助演習						11時間	
	企業実習		実施しない	☒	実施する	70時間				
	職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】「介護員としての心構え」(介護業界のデジタル技術活用事例の紹介を含む)1時間×2回							2時間	
【職業人講話】「介護員に求められる人物とは」1時間×2回								2時間		
【職業人講話】「介護業界の動向と特徴」1時間×2回								2時間		
訓練時間総合計	629時間	学科	379時間	実技	174時間	企業実習	70時間	職場見学等	6時間	
受講者の負担する費用	教科書代	0円						合計 680円		
	その他 (全身性障がい者移動支援演習及び同行援護の演習に係る交通費)	680円								
	備考 (企業実習に係る交通費実費、健康診断料800円(税込)、法定講習欠席に係る補講費1回:3,000円(税込)は別途発生)									
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	☒	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する							
		☐	オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混合型)			☐	オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)			オンライン計 時間
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	座学に加え、ロールプレイングやグループワーク等の体験学習を積極的に取り入れ、学習効果を高める。介護ベッド等、介護現場で使用されている介護器材を使用し、様々な介護場面における介護技術を習得する。								
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	講義及び実技・演習を通じて、受講生が介護に対する取り組み方や考え方が理解できているか、習得度を講師が常に把握し、理解が深まっていない受講生に対しては、訓練終了後に個別に対応を行う。								

訓練実施施設所在地地図

訓練実施施設住所: 〒 530-0027 大阪府大阪市北区堂山町1番5号 三共梅田ビル5階 F教室



【最寄駅】地下鉄谷町線「東梅田駅」より徒歩約5分
地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約8分
JR大阪駅より徒歩約10分

訓練カリキュラム(企業実習用)

訓練カリキュラム(企業実習用)			
	科目	科目の内容	訓練時間
訓練内容	生活支援技術・介護過程の実践	生活サイクルの確認、利用者の確認、利用者の生活支援介護過程を踏まえたサービス提供	69時間
	安全衛生	衛生管理項目の確認、救命装置の設置場所確認、うがい・手洗いの徹底、衛生用具の使用、安全姿勢	1時間